

# つうしん SPS通信



だいごうれいわねんがつかはっこう  
第3号 令和3年12月24日 発行

おおさかふりつちゅうおうちようかくしえんがっこう  
大阪府立中央聴覚支援学校



あす ふゆやす  
明日から冬休み!!



あす ふゆやす はじ ねんまつ ねんし さむ いっそうきび よそう たいちよう くず  
明日から、冬休みが始まります。年末から年始にかけては、寒さが一層厳しくなることが予想されます。体調を崩さ

ないようきそくただ せいかつ おく たの ふゆやす す  
ないように規則正しい生活を送り、楽しい冬休みを過ごしてください。

こんかい つうしん さいきん わだい かさい かにい き つ  
さて、今回のSPS通信では、最近のニュースでも話題になっている「火災」についてご家庭でも気を付けていただ

きたいポイントと2学期の取り組みの様子をご紹介します。



## かさい 〇火災とは

かさい しょうか ひつよう ねんしょう ばくはつげんしょう しょうか しょうかしせつ どうていど  
火災は、消火の必要がある燃焼または爆発現象であり、これを消火するために消火施設またはこれと同程度の

こうか りよう ひつよう さ かさい じしん たいふう さいがい くら おお こと とうちよう  
効果のあるものの利用を必要とするものを指します。火災は、地震や台風の災害と比べて大きく異なる特徴がありま

す。それは、火災が人為的行為と自然現象の両方の要素を含む災害であるということです。そのため、他の災害より

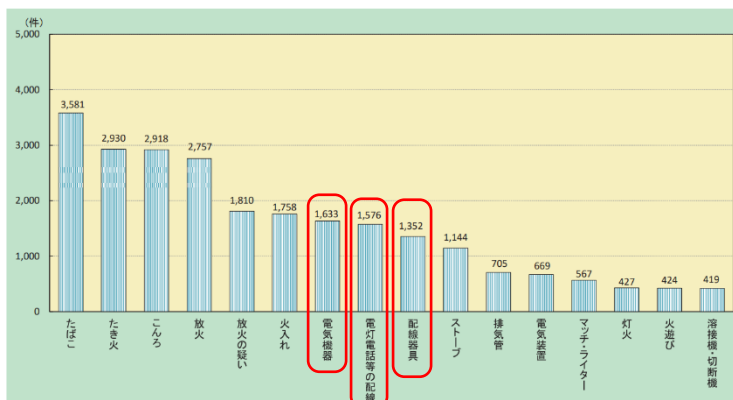
いっそうかさいはっせい ふせ じぜん たいさく かさいよぼう じゅうよう  
一層火災発生を防ぐ事前の対策(火災予防)が重要とされています。

にほん はっせい ぜんかさい たてものかさい もと おお で しきべつ かき しょうす  
日本では、発生した全火災のうち建物火災が最も多いというデータが出ています。四季別にみると、火気を使用す

きかい おお どうき とく に1~2月)が火災の起きやすい時期と言われています。




かさいげんいん 『れいわ ねんぱんしょうぼうはくしよそうむしょうしょうぼうちよう いんよう  
<火災原因> 『令和2年版消防白書総務省消防庁』より引用



きんねん きき ふきゅう ともな  
近年、デジタル機器の普及に伴い、ノートパソコン・  
スマートフォン・タブレット等に使用されているリチウ  
ム電池を充電中、あるいは使用中などに出火する  
火災が増えており、取扱いには注意が必要です。

ひごろ かさいよぼう  
日頃からできる火災予防のポイント

このチェックリストを活用して、火災予防ができていないか確認してみてください。できていないところは、少しずつ見直しててください。

	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
<div style="text-align: center;">だいどころ 台所</div> 	火を使用している間は、その場を離れない。	<input type="checkbox"/>
	コンロの汚れを定期的に掃除する。	<input type="checkbox"/>
	安全装置のついた調理器具を使用する。	<input type="checkbox"/>
	ガスのゴムホースに焦げやヒビ割れがあれば交換する。	<input type="checkbox"/>
	コンロの周りに燃えやすい物を置かない。	<input type="checkbox"/>
<div style="text-align: center;">ストーブ</div> 	寝る時は、ストーブを消す。	<input type="checkbox"/>
	安全装置のついたストーブを使用する。	<input type="checkbox"/>
	ストーブの周りに燃えやすい物を置かない。	<input type="checkbox"/>
	ストーブの近くで洗濯物を干さない。	<input type="checkbox"/>
<div style="text-align: center;">しつない 室内</div> 	住宅用火災警報器を定期的に点検する。	<input type="checkbox"/>
	コンセントのプラグのほこりを定期的に掃除する。	<input type="checkbox"/>
	電気コードを家具の下敷きにしない。	<input type="checkbox"/>
	電気コードを束ねたり、たこ足配線にしたりしない。	<input type="checkbox"/>

ぜひ、冬休みの時間を活用して、ご家庭でも火災予防対策について話し合ってみてください。

## 〇2学期の取り組み

### 【幼稚部】

2学期、年中さんは、保護者の方にも協力をさせていただき、毎日朝ごはん調べを続けてきました。朝ごはんは何を食べたかを思い出しながら、みんなの前で発表することで、食にも興味を持ち始めました。

「朝ごはんをしっかりと食べたなら、元気な体になるよ!!」を合言葉に今後も続けていきたいと思えます。

### 【小学部】

3年生は、社会見学で中央消防署に行きました。消防署の方から、火災の原因や消防署の仕事について教えていただきました。消防車やはしご車にも実際に乗せてもらうことができたようで、貴重な経験もさせていただきました。この学習を通して、火災が起きないようにするために日ごろから気をつけることを学ぶことができました。

### 【中学部】

中学部は、11月19日(金)に1年生の自立の授業で、新館校舎2階と3階の手すりと落下防止ネットの間をスズランテープで固定する作業を行いました。導入として、まずパワーポイントを見て、SPS認定校について振り返りをした後、スズランテープを使って落下防止ネットと中央ホールに面した手すりを固定する手順をスライドで確認しました。スライドを見た後は、教職員と共に手分けして2階からネットと手すりをスズランテープで固定していきました。

### 【高等部】

本科2年生は、修学旅行で宮城・福島方面を訪れ、先の東日本大震災による震災遺構やそれに関する見学施設を訪ねました。語り部さんから、海溝型地震による津波災害の恐ろしさだけでなく、事前にどのような準備や心がけが大切かをお聞きし、気持ちを新たにしました。そして、10年を過ぎた今も震災の影響は続いており、広く伝えていく必要があると一人ひとりが思いました。この経験を、将来必ず起こると予想されている“南海トラフ地震”の際に生かしてくれると信じています。



津波災害を受けた仙台市の“荒浜小学校”にて語り部さんの話を聞く



福島県の環境創造センター“コミュタン福島”にて震災によって引き起こされた原子力災害について学ぶ

## 【寄宿舍】

寄宿舍では10月27日(水)に避難訓練を行いました。寄宿舍の性質上、様々な時間帯での避難を想定する必要があり、今回は就寝時の火災を想定して火災避難訓練を行いました。舎生が寝てしまっている午前1時に火災が発生した想定で、全員布団の中から訓練スタート。停電した暗闇の中で自分の懐中電灯を頼りに避難を行い、いつでも冷静に避難することができるように訓練を重ねています。

# おらせ

本校の小学部3年生が社会見学で消防署を訪問したことがきっかけで、中央消防署の方が、聴覚障がいのある子どもたちのために火災に関する手話付き動画を作成していただけるそうです。本校の教職員も動画作成に協力しています。

完成しましたら、また追ってご連絡いたします。

